

(6) 実現化に向けて

第3回ワークショップでは、これまで出された提案内容(P34～P37)について、優先度・重要度を検討しました。検討の方法は、参加の皆さんにそれぞれの提案について1点～5点(重要度が高いほど高得点)で採点してもらい、皆さんの得点を合計した得点を参考に意見交換を行いました。検討の結果は以下のとおりです。

提案事業の重要度・優先度と実現化方針(第3回ワークショップより)

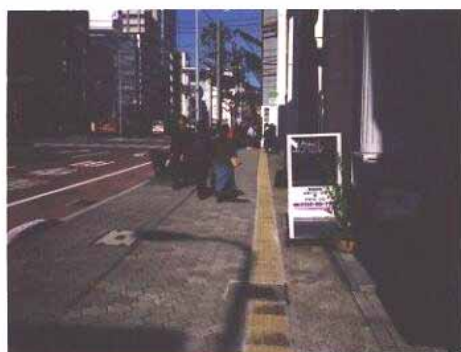
バリアフリー <整備時期の目安> 短期:概ね2年以内、中期:5年以内、長期:10年以内

項目	整備時期			実現化方針	参照頁		
	短期	中期	長期				
歩道	105	わかりやすい点字ブロックの整備及び連続性の確保				問題点を確認し段階的に整備	7-11
	104	歩道上の障害物の撤去(看板、バイク、自転車)				住民や事業者との連携の下、ガイドライン等を作成し早急を実施。駐輪場等を段階的に整備	7-11
	89	歩道の段差の解消				新設道路については完全バリアフリー化。既存道路については段階的な改修を実施	7-11
		排水溝等の蓋の改良(網目に車椅子の車輪がはまる)				問題点を確認し早急を実施	8,11
		車椅子が通れる歩道幅員の確保(特に馬町の歩道)				道路整備に併せて段階的に実施。整備前においては暫定案の実施	8,11
		スロープの設置				問題点を確認し段階的に整備	7
		カーブミラーの設置				問題点を確認し早急を実施	14
		転落防止柵の充実(伊良林小学校付近)				小学校との連携により早急を実施	15
		バス停付近の花壇の撤去				問題点を確認し早急を実施	15

表右の点数は重要度得点の上位3つ(黄色表示)



項目		整備時期			実現化方針	参照頁	
		短期	中期	長期			
違法 駐車・ 駐輪		歩道橋下の植栽スペースを利用した駐輪場の整備				早急にモデル整備を実施。効果次第で段階的整備へ	14
電停・ 横断 歩道		諏訪神社前電停への横断歩道又はエレベータの設置				幅広い市民の意向を伺いながら段階的に検討・実施	14
		諏訪神社前電停の移転				幅広い市民の意向を伺いながら段階的に検討・実施	15
		待合スペースの整備				早急にモデル整備を実施。効果次第で段階的整備へ	15
バス停	88	バス停の改良(点字ブロックの適正化、車椅子スペースの確保、時刻表の位置の工夫)				問題点を確認し早急に実施	12
信号	87	信号の時間の適正化(特に中川町)				警察との連携により段階的に実施	13
植栽		清掃の徹底				市民との連携により早急に実施	14,15
		住民に開放した植栽スペースの設置				市民との連携により早急に実施	15
		植栽空間を使った駐車場の整備				早急にモデル整備を実施。効果次第で段階的整備へ	14,15
		植栽帯への手すり設置				早急にモデル整備を実施。効果次第で段階的整備へ	15



① 視覚障害者の人が安全に歩ける



15のゾーンの段差(防犯)

歩道橋

項目			整備時期			役割分担等	参照頁
			短期	中期	長期		
県庁前	83	県庁前歩道橋の撤去(又は手すり・段差の改良、エレベータの設置)				市民の意向を伺いつつ早急に実施(代替ルート等の確保が必要)	16-19
(旧)桜町小前	88	(旧)桜町小学校前歩道橋の撤去(3月撤去決定!)				市民の意向を伺いつつ早急に実施(代替ルート等の確保が必要)	16-19
市役所前	87	市役所前歩道橋の改良(古い方)(エレベータの設置、案内板の設置、水溜りの解消等)				市民の意向を伺いつつ段階的に実施	16-19
駐輪	77	駐輪スペースとしての有効活用				問題点を確認し早急に実施	16,19 21
本体		プランターの設置				維持管理面を考慮しながらモデル整備を実施。効果次第で段階的に波及	22
		電車のパンダグラフの改善					20
		町と調和した歩道橋づくり(色の工夫など)				市民との連携により段階的に実施	20
美化	85	清掃の徹底				市民との連携により早急に実施	19,22



諏訪神社前交差点

項目		整備時期			役割分担等	参照頁	
		短期	中期	長期			
バリアフリー		諏訪神社前電停への横断歩道又は地下エレベータの設置				構造的な検討等を行いながら段階的に実施	25,26
	89	手すりや案内板の設置				問題箇所を確認しつつ早急に実施	25,26,28
	97	滑り防止				問題箇所を確認しつつ早急に実施	26
		階段の改良(勾配等)				全面的な改修も含め長期的に実施	26
	57	違法駐輪・バイクの撤去				市民や事業者との連携により早急に実施	26
		歩きやすい歩道づくり(凹凸の解消等)				問題箇所を確認しつつ段階的に実施	26,27
	55	諏訪神社前電停の移転				幅広い市民の意向を伺いながら段階的に検討・実施	26
		待合スペースの整備				早急にモデル整備を実施。効果次第で段階的整備へ	15
防犯	100	防犯カメラ・非常ベルの設置(交番直通)				市民の意向を伺いつつ段階的に実施	25
	98	照明の改良				市民の意向を伺いつつ早急に実施	25
		案内板の設置				同上	25
美観		地下道内写真の更新 写真コンテストの開催				市民参加のイベント等と絡めて早急に実施	25,28
	93	地下道内の清掃				市民との連携により早急に実施	26,28
		周辺の植栽部分の清掃				市民との連携により早急に実施	28



歩きたくなる魅力的な道づくり

項目		整備時期			役割分担等	参照頁
		短期	中期	長期		
植栽	93	国・県・市の連携の連携強化			担当各課の連携のもと早急に実施	33
		街路樹の充実			里親制度を設けるなど市民との連携により早急に実施	31,32
		花壇コンクールの開催			市民との連携のもと早急に実施	32
		植栽間を利用した駐輪スペースの設置			モデル整備を早急に実施。効果次第で段階的に波及	33
		市民参加による活用策の検討			市民参加の場と機会を早急に設ける	33
景観(美観)	91	道路の清掃			市民や事業者との連携により早急に実施	31
	96	歩道橋下や歩道上の自転車・バイクの撤去			市民や事業者との連携により早急に実施	31
	93	不法占拠物件の撤去			市民の意向を伺いつつ早急に実施	31
歴史		歴史的遺産の顕著化(石碑等を目立つ場所へ設置)			歴史的遺産の現状を把握した上で段階的に実施	31
	76	歩道面を利用した案内板づくり			道路改修等に併せて段階的に実施	31
休憩場		歩行者のためのベンチの設置			市民の意向を伺いつつ段階的に実施	31
		ポケットパークの整備・充実			市民の意向を伺いつつ段階的に実施	31
道路面	90	歩きやすい歩道づくり(段差解消、点字ブロックの整備等)			道路改修等にあわせて段階的に実施	31,33
観光		国・県・市の連携による再チェックの実施(案内板、観光資源の適正化)			担当各課の連携のもと早急に実施	33



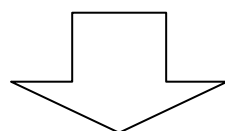
実現化に向けて(来年度の展開方針)

平成15年度は、「バリアフリー」、「歩道橋」、「諏訪神社前交差点」、「歩きたくなる道づくり」という4つの主要テーマで、3回のワークショップを開催し、これからの道づくりに対する具体的な提案を取りまとめました。また、花いっぱいキャンペーンやトークセッション(予定)を開催するなど、市民の皆さんへの周知・意識啓発も行ってきました。

平成16年度は、今年度に引き続き市民の皆さん、各種団体の皆さん、民間の皆さん、行政の方々との連携を図りながら、実現化の第1ステップとして今年度出されたアイデアを出来るものから順に一つ一つ実現していきたいと考えます。

具体的には、平成16年度中の実現化を目指すアイデアの絞り込みを行い、私達市民と行政の役割分担を明確した上で、イベント形式のワークショップやフィールドワーク等を積極的に開催し実現化を図りたいと考えます。もちろん、積極的なPRを展開し一人でも多くの市民の皆さんに参加してもらうことが重要です。

平成15年度 道づくりのアイデア



平成16年度 実現化の第1ステップ

出来るものからフィールドワーク等を通じ一つ一つ実現を！！



(平成16年度活動イメージ)

平成16年度に取り組む事業を絞り込む「行政との意見交換会」の実施

イベント形式のフィールドワークによる事業の実施

(例:道路脇の植栽帯を使った市民ガーデンづくり)

歩道橋の定点観測(県庁前など)

歩道確保のための社会実験の検討・実施

花いっぱいキャンペーンの実施(地域、企業との連携・・・募金、協賛金の確保)

情報発信の充実(小冊子の作成、ホームページの作成など)

(参考資料) 1. R34道づくりアンケート調査結果

< 調査概要 >

調査期間：平成15年10月～平成16年1月

調査対象：国道34号沿線の世帯、事業所、学校等に配布

配布回収方法：ルート34ワークシヨップ実行委員会による配布回収

配布数：5,000票

回収率：29.5% (1,473票)・・・平成16年1月末現在

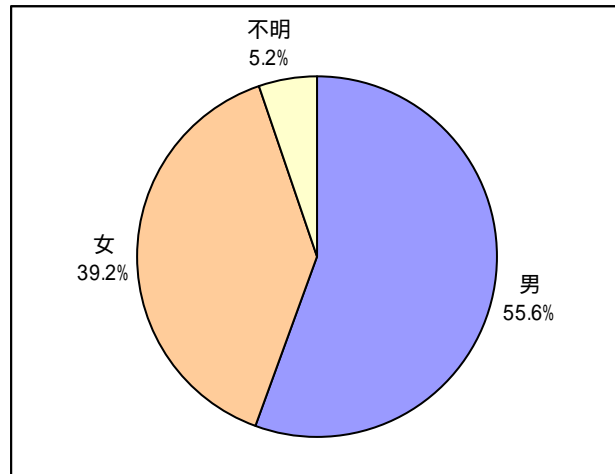
設問項目

1) 性別(男・女)	
2) 年齢(10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代～)	
3) 国道34号の環境評価 “非常に良い”、“やや良い”、“やや悪い”、“大変悪い”の4段階で評価	1. 歩道の歩きやすさ(舗装面の凹凸、段差、広さ等)
	2. 車道の使いやすさ(広さ、車線数等)
	3. ベンチ・ミニ公園などの休憩場所の多さ
	4. 横断歩道の使いやすさ(高齢者対応など)
	5. 歩道橋の使いやすさ
	6. 地下道の使いやすさ(諏訪神社のところ)
	7. 信号の待ち時間の長さ
	8. 交通規制(一方通行など)の適用状況
	9. 渋滞の多さ(騒音含む)
	10. ドライバーの運転マナー
	11. 路上駐車の高さ(多いと思う程“悪い”へ)
	12. 歩道における自転車・バイクの多さ
	13. 街路樹などの緑の多さ
	14. 公共交通機関の使いやすさ(バス停や電停の間隔、ルート、時間等)
	15. 景観(舗装面の修景、沿道建物の色やデザイン、電線、看板等)
4) 道づくりの方向性 (複数選択)	交通渋滞の少ない安全で快適な道づくり 段差のない、ゆったりした広さの歩きやすい歩道づくり ベンチや公園のあるゆっくり歩ける歩道づくり 誰もが使いやすい歩道橋づくり 誰もが安心して利用できる横断歩道づくり 歩行者と自動車が完全に分離した道づくり 景観に配慮した魅力的な道づくり・歩道づくり その他

< 調査結果 >

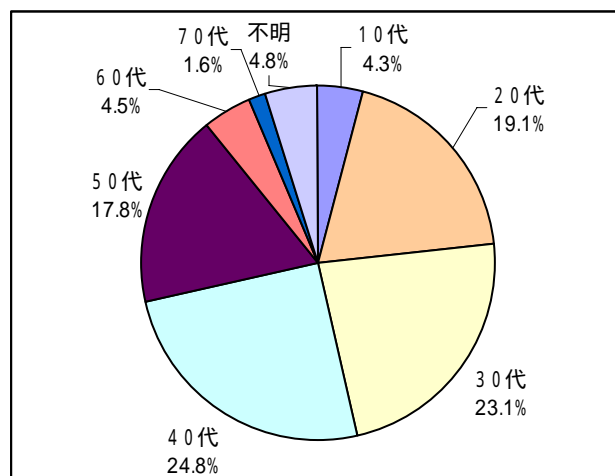
1) 性別

分類	実数	構成比
男	819	55.6%
女	578	39.2%
不明	76	5.2%
合計	1473	100.0%



2) 年代

分類	実数	構成比
10代	63	4.3%
20代	282	19.1%
30代	340	23.1%
40代	365	24.8%
50代	262	17.8%
60代	67	4.5%
70代	23	1.6%
不明	71	4.8%
合計	1473	100.0%

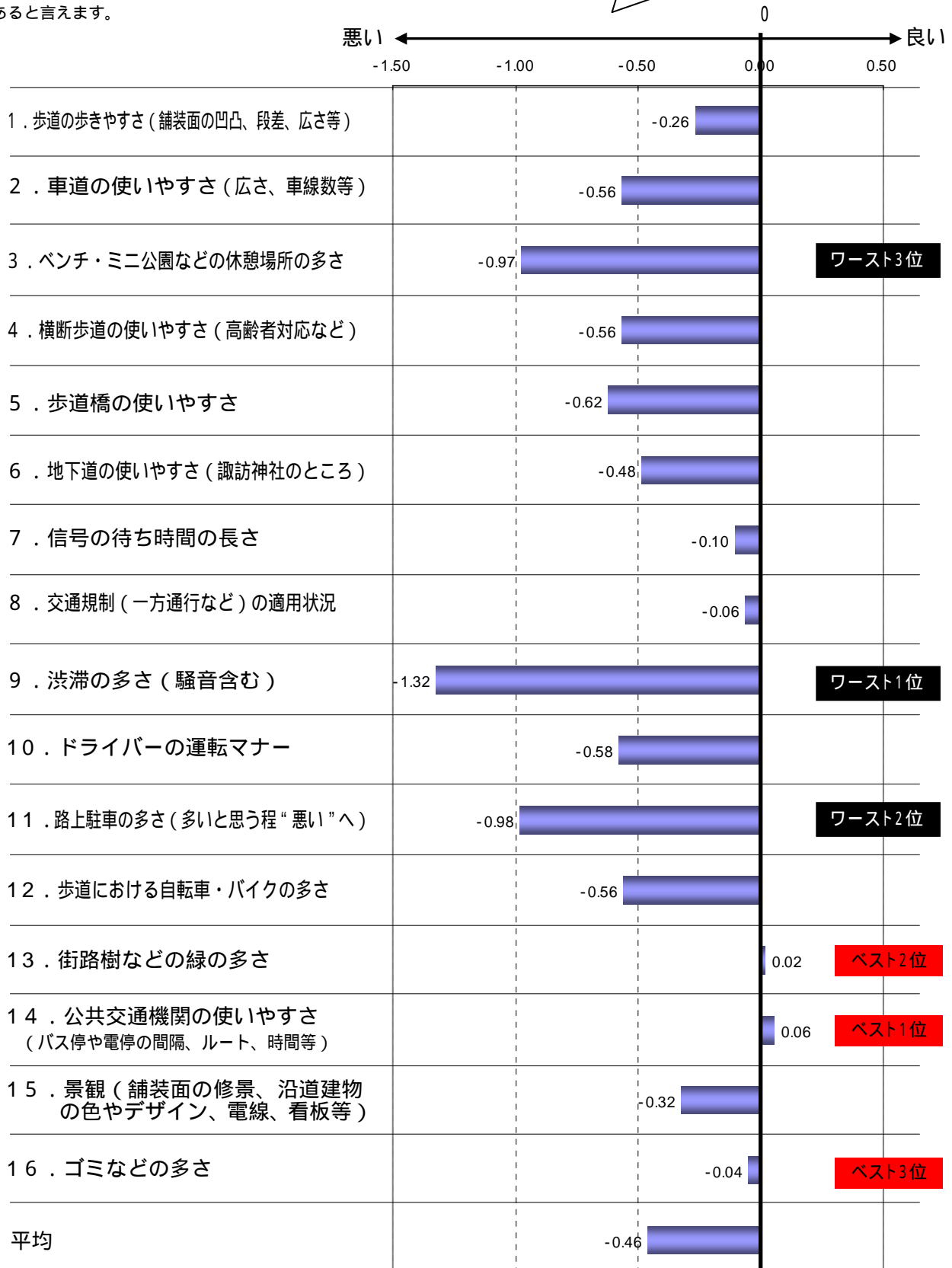


3) 環境評価 (単純集計)

(評価方法) 1～16の各項目を「非常に良い」、「やや良い」、「やや悪い」、「非常に悪い」の4段階で評価して頂き、非常に良い3点、やや良い1点、やや悪いマイナス1点、非常に悪いマイナス3点で合計値を算出し、回答者数で除した指標をグラフ化したものです。

最大値(最も評価が高いもの)は+3、最小値(最も評価が低いもの)はマイナス3となり、グラフが左に行けば行くほど問題が大きい項目であると言えます。

ほとんどの項目が0より左側、つまり“悪い”という評価になっています。中でも「渋滞の多さ」「路上駐車の高さ」「休憩場の多さ」などは特に悪い評価となっています。



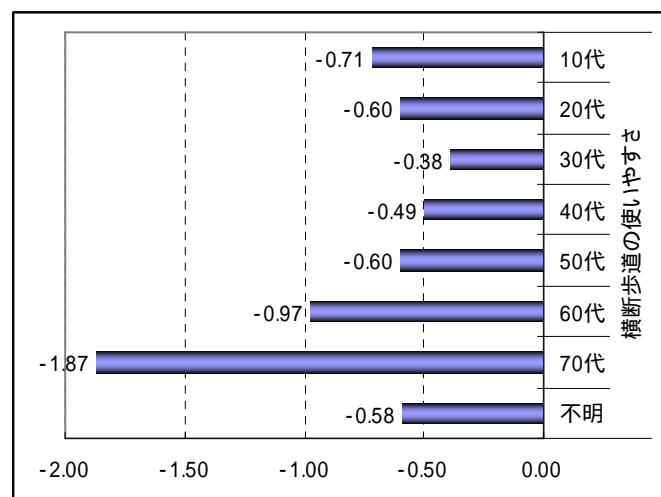
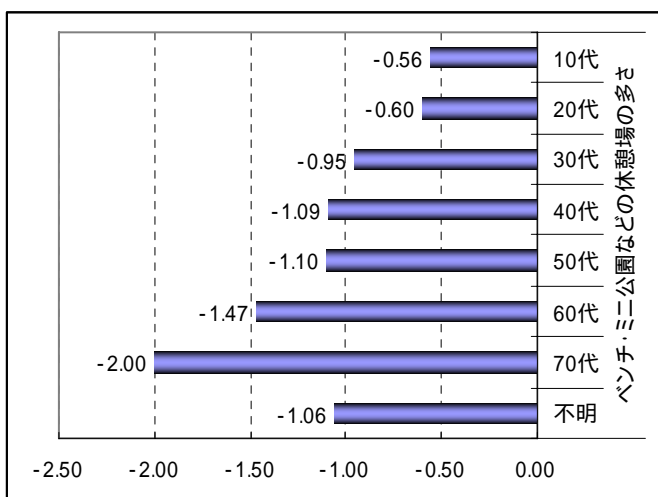
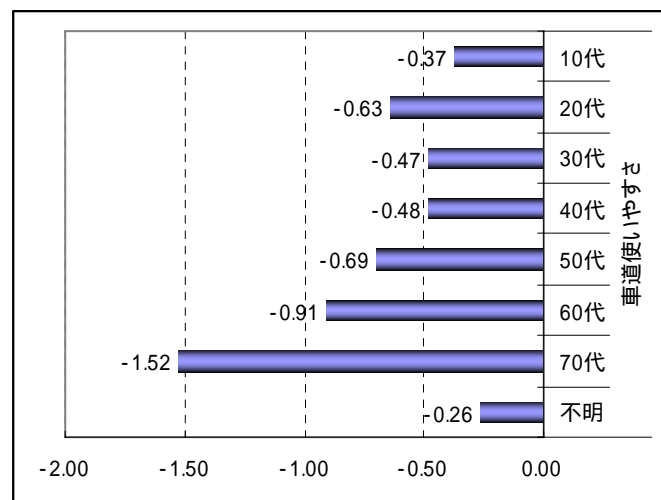
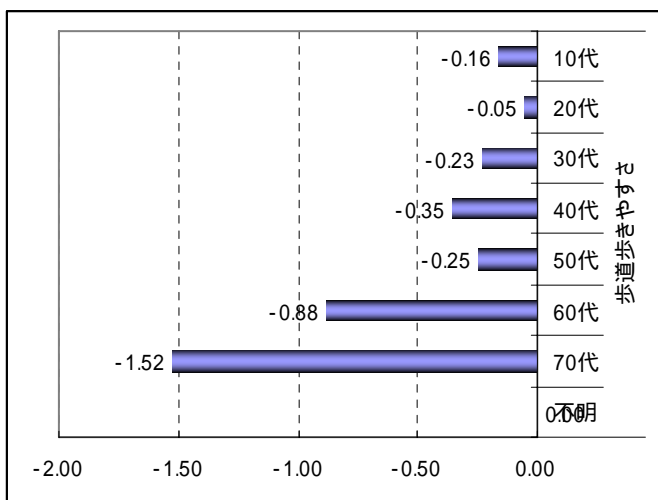
(参考) 実数データ

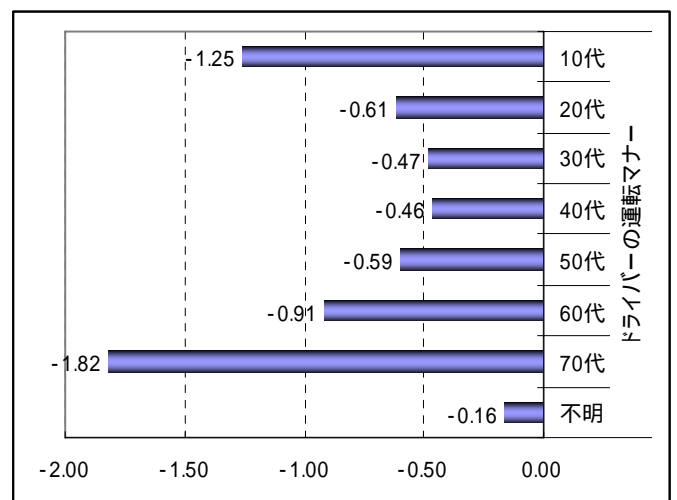
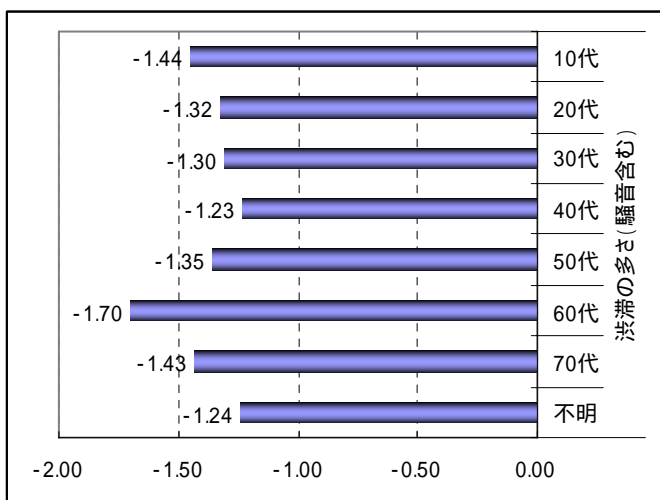
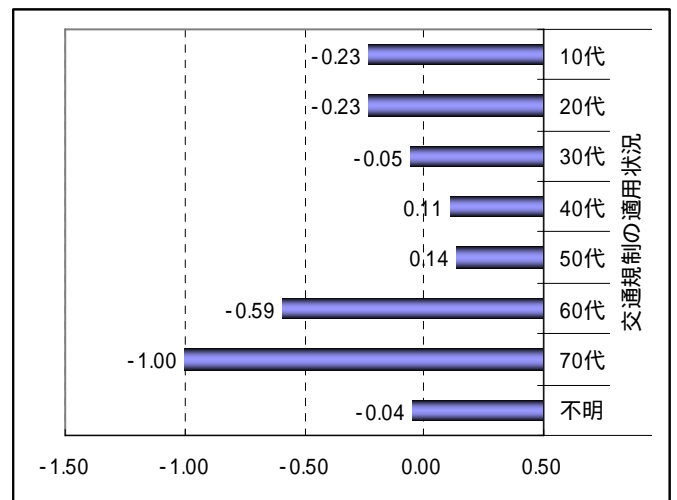
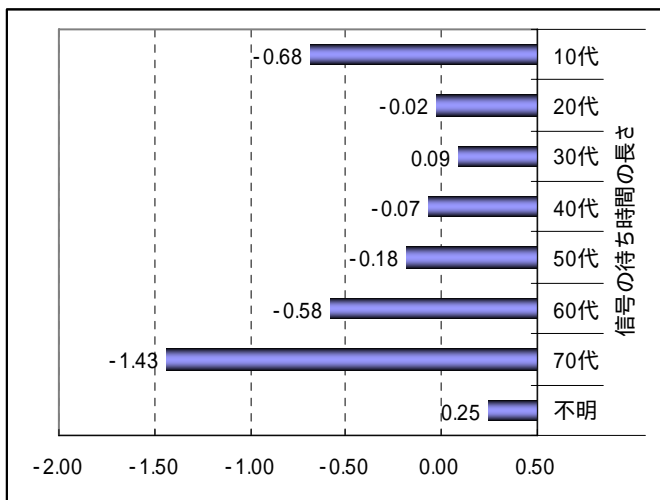
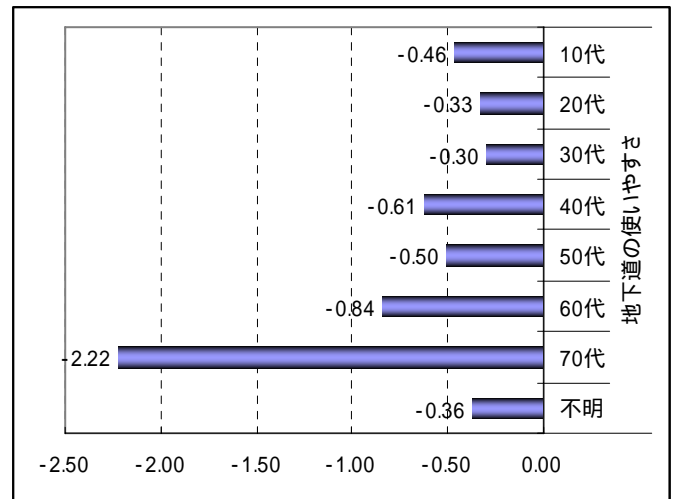
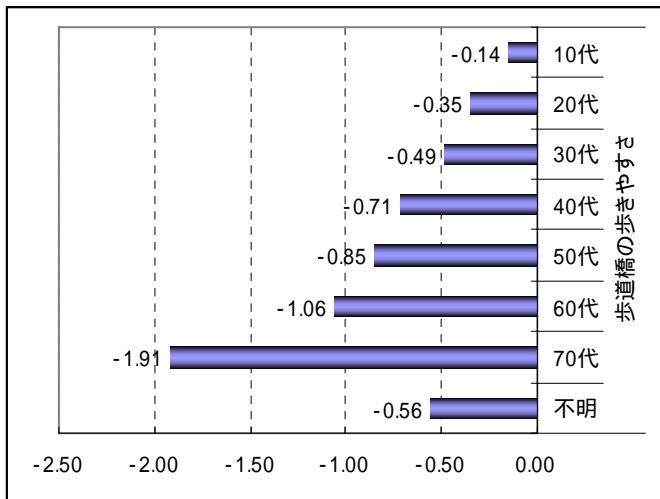
	非常に良い	まあまあ良い	やや悪い	大変悪い	回答者数	得点	指数
1. 歩道の歩きやすさ	19	686	542	193	1,440	-378	-0.26
2. 車道の使いやすさ	22	510	687	237	1,456	-822	-0.56
3. 休憩場所の多さ	9	342	729	341	1,421	-1,383	-0.97
4. 横断歩道の使いやすさ	13	530	628	247	1,418	-800	-0.56
5. 歩道橋の使いやすさ	20	497	646	263	1,426	-878	-0.62
6. 地下道の使いやすさ	38	575	519	285	1,417	-685	-0.48
7. 信号の待ち時間の長さ	12	800	453	176	1,441	-145	-0.10
8. 交通規制(一方通行など)の適用状況	16	762	467	141	1,386	-80	-0.06
9. 渋滞の多さ(騒音含む)	3	237	723	473	1,436	-1,896	-1.32
10. ドライバーの運転マナー	15	527	653	251	1,446	-834	-0.58
11. 路上駐車の高さ	16	358	701	375	1,450	-1,420	-0.98
12. 歩道における自転車・バイクの多さ	21	546	597	271	1,435	-801	-0.56
13. 街路樹などの緑の多さ	66	727	532	122	1,447	27	0.02
14. 公共交通機関の使いやすさ	52	791	464	134	1,441	81	0.06
15. 景観	14	650	588	189	1,441	-463	-0.32
16. ゴミなどの多さ	42	769	480	160	1,451	-65	-0.04
平均	378	9,307	9,409	3,858	22,952	-10,542	-0.46

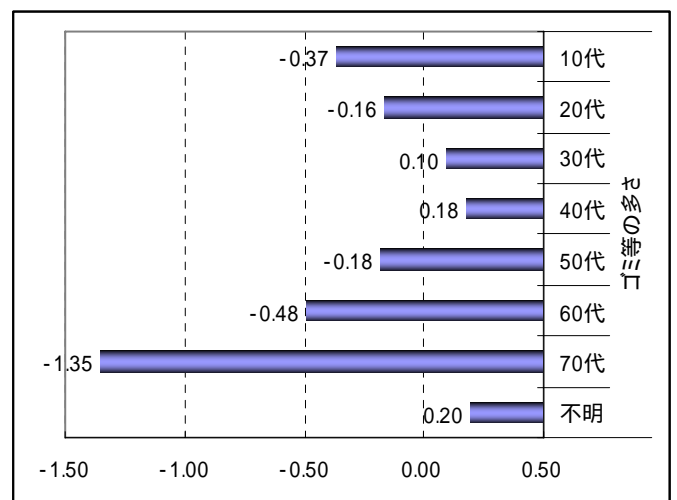
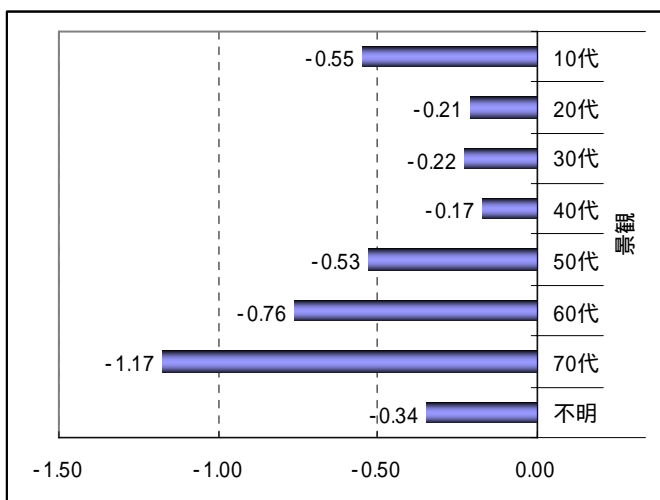
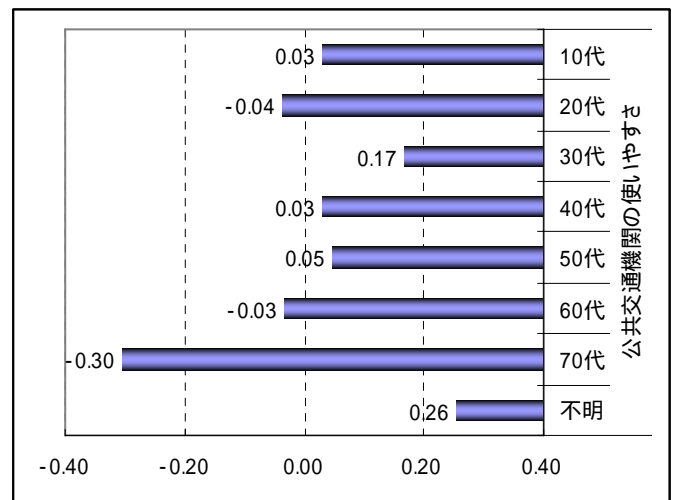
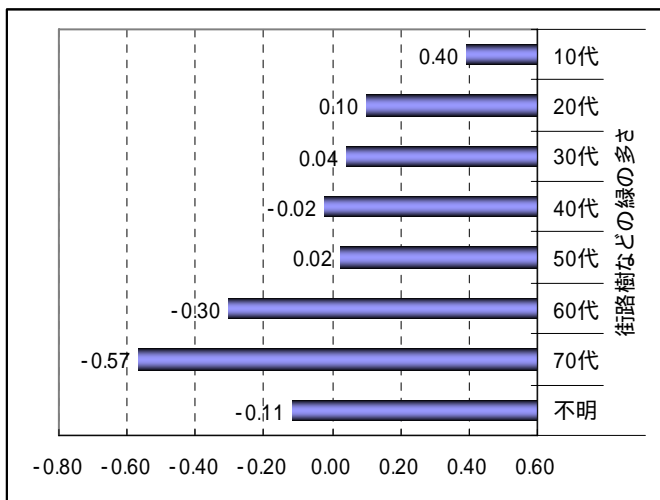
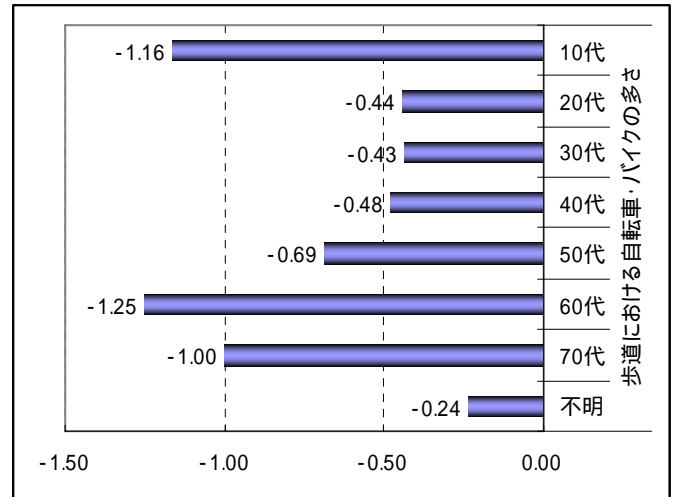
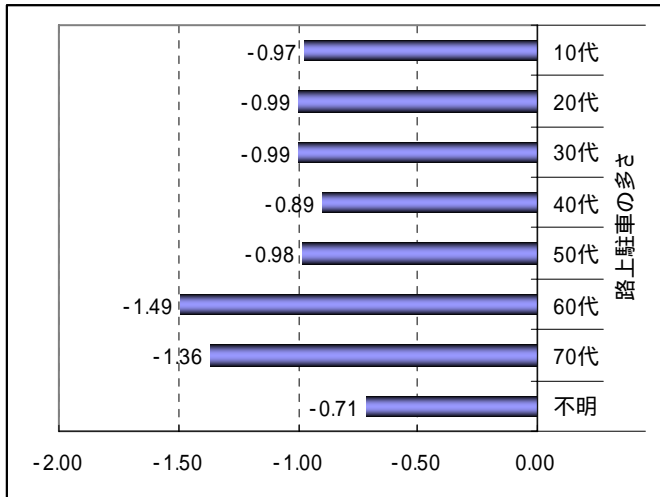
(年齢別クロス集計)

ポイント

- ・ 全般的に、年代が高くなるにつれて評価が悪くなる傾向がみられる。
- ・ 全ての年代で悪い評価が見られたのは「渋滞の多さ」や「路上駐車の高さ」など。
- ・ 「歩道における自転車、バイクの多さ」や「ドライバーの運転マナー」等では10代が悪い評価を示す傾向が目立つ。ドライバーの運転マナーには、路面電車やバス等の公共交通の運転マナーも示していると考えられる。

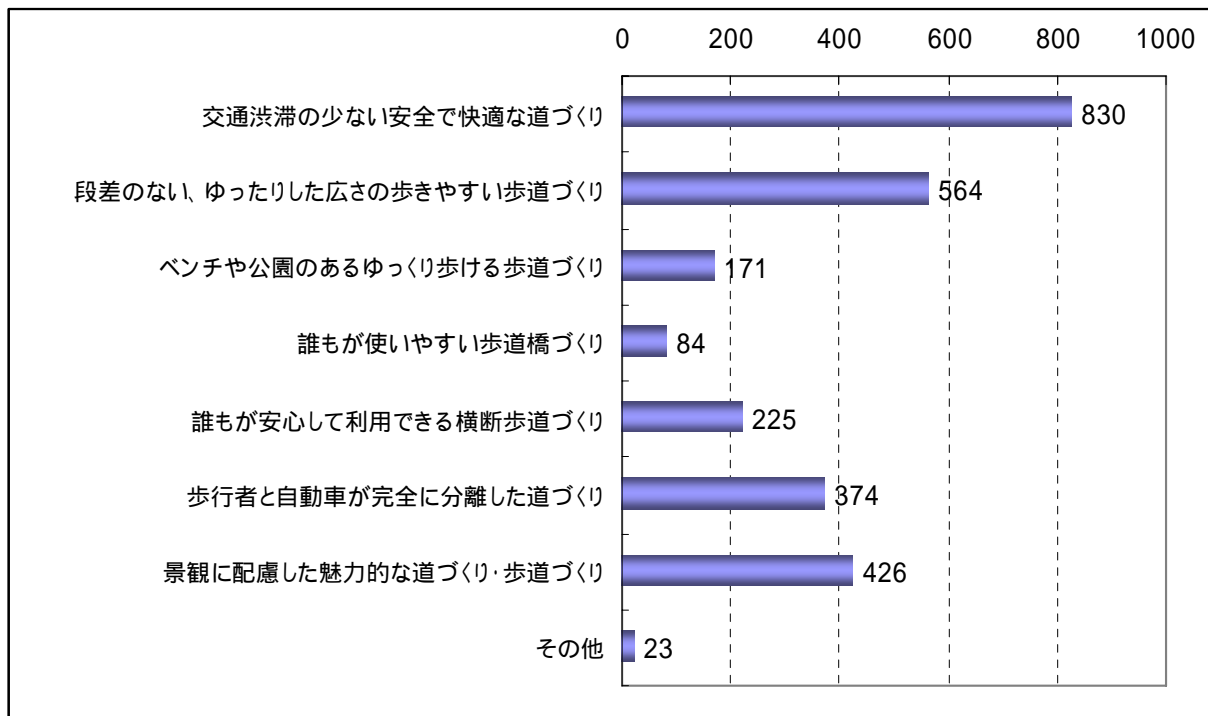






4) 道づくりの方向性(複数回答)

(人)



2. ヒアリング調査結果

< 調査概要 >

調査期間：平成 15 年 1 1 月 3 日（日祝）

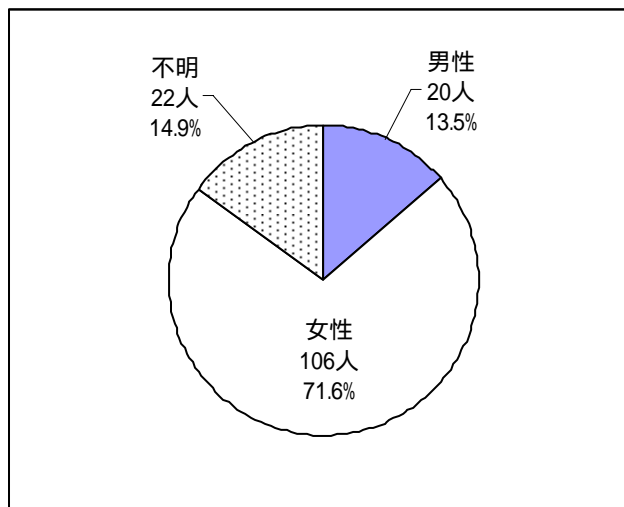
調査対象：長崎ウーマンズ・ウォークラリー参加者（中央公園）

調査方法：ルート34ワークショップ実行委員会による聞き取り調査

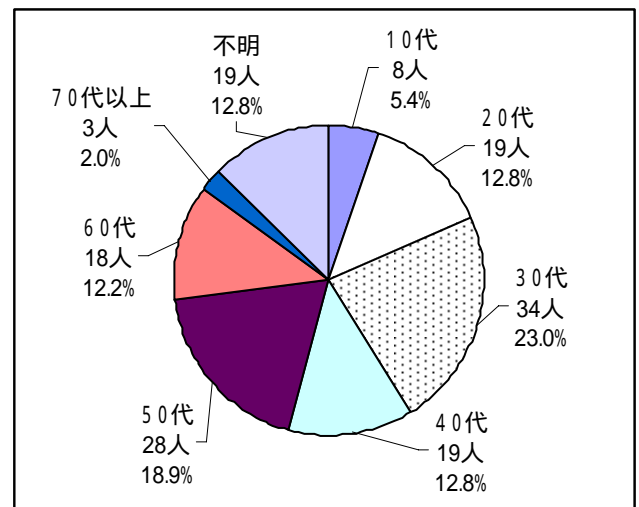
ヒアリング者数：148人



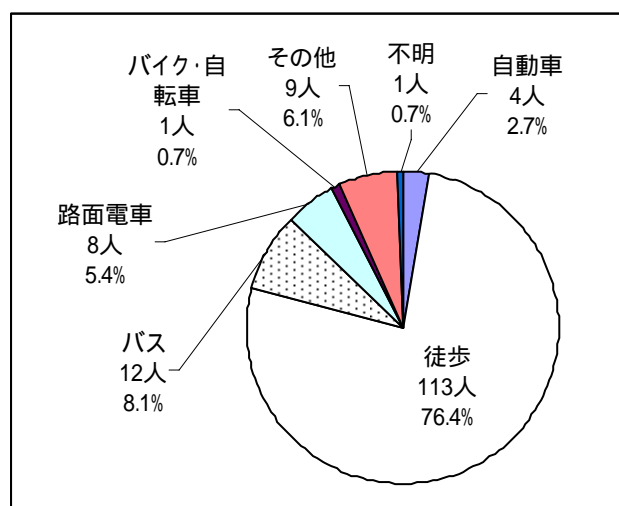
（性別）



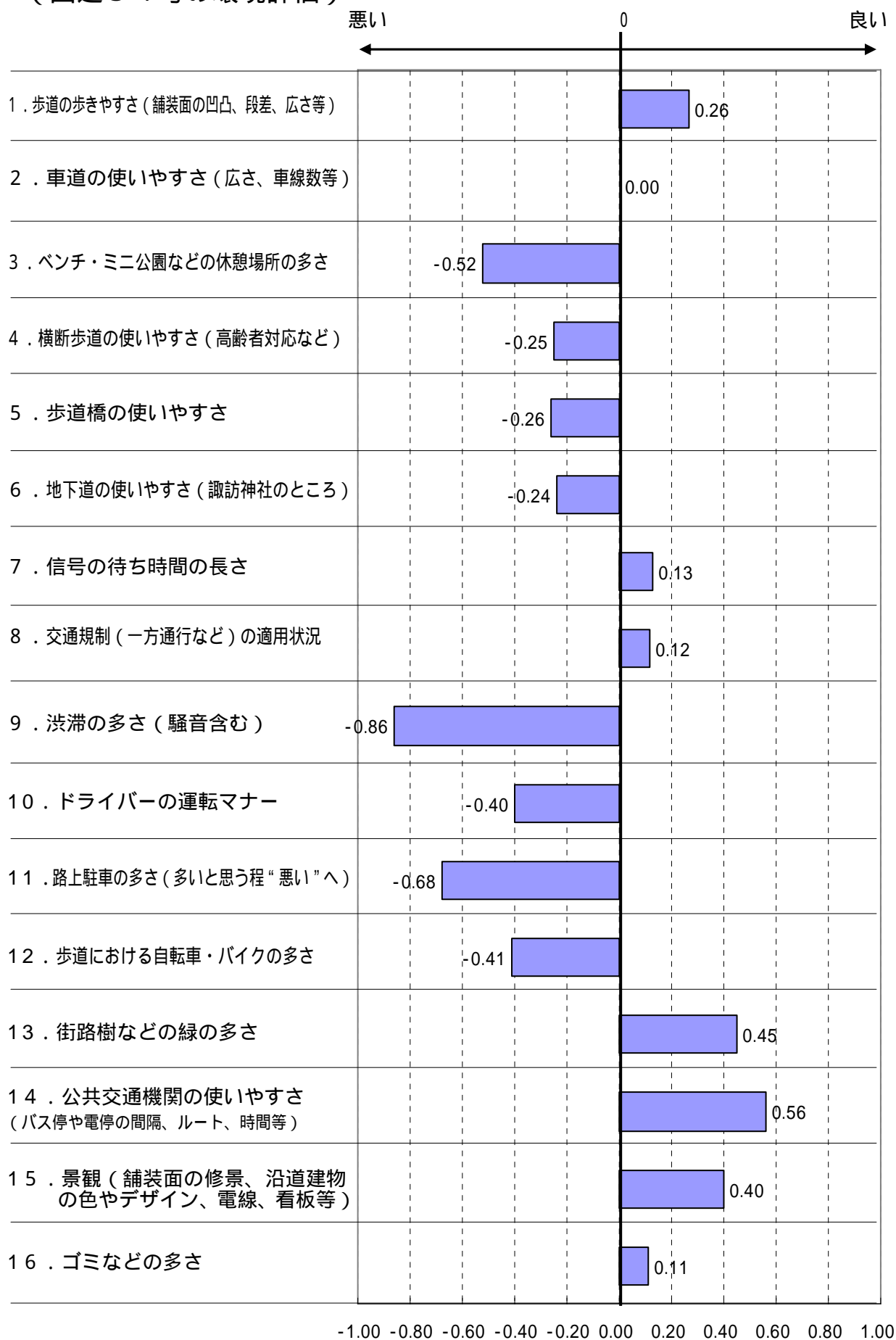
（年代）



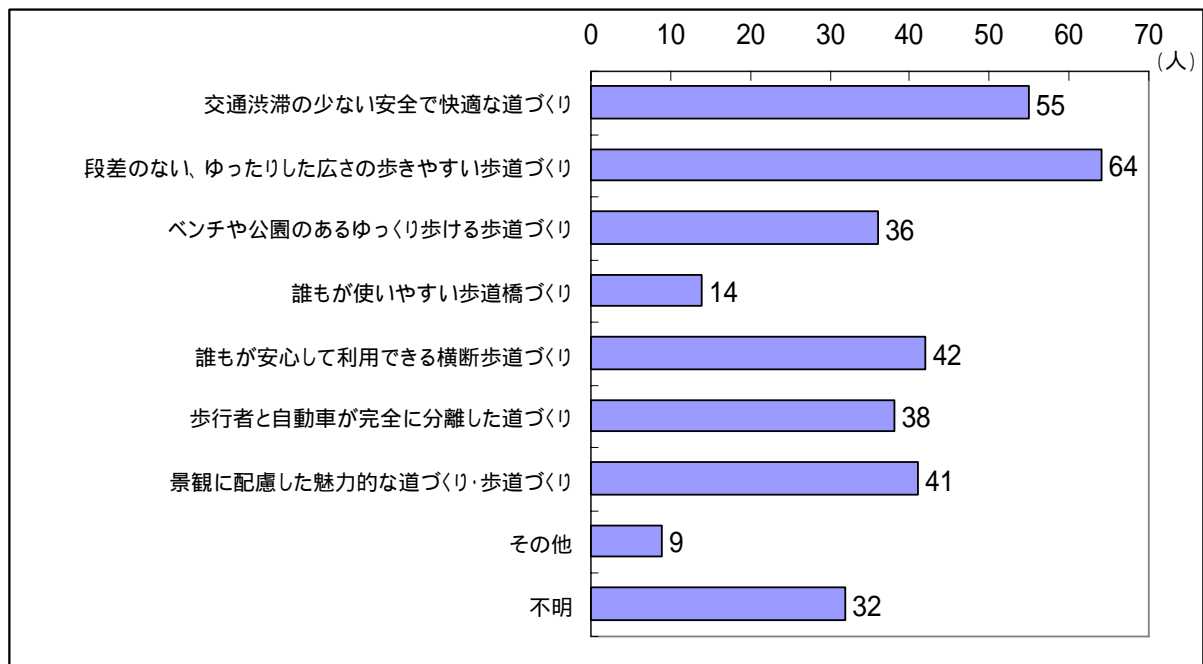
（来場手段）



(国道34号の環境評価)



(道づくりの方向性)



(自由意見)

国道34号の環境評価の項目に応じて意見を分類しました。

1 歩道歩きやすさ

- ・ 県立図書館の前を改善してほしい。
- ・ 馬町～市役所の歩道が狭くて歩きにくい。
- ・ 馬町周辺の東側の歩道が狭い。反対側は広い。
- ・ 馬町～県庁間が問題あり。
- ・ 市役所・桜町小学校周辺は工事が多くて歩きにくい。案内板が欲しい。
- ・ 歴史資料館完成時の車の整理が大変心配。特に、桜町小学校から諏訪神社の下までの歩道が大変狭いので、いつもはらはらしながら歩いている。非常に難しいことだと思うが、拡幅あるいは、電線の地中化を急ぐなどして、歩きやすくしてほしい。
- ・ 県立図書館周辺は工事中で危ない。改善してほしい。
- ・ 日銀の前が歩道・車道とも悪い。
- ・ 諏訪神社から市役所までの歩道が狭く、一人しか歩けない。しかも少し斜めになっているので、足の悪い人には歩きにくいのでは？と思う。市役所(本庁)側の歩道橋にはエレベーターがついているけど、反対側はあまり歩く人のためになっていないと思う。
- ・ 歩道と車道を区分けしてほしい。路上駐車しているので歩きにくい。ペットも安心して歩ける道を作ってほしい。
- ・ 狭くて歩きにくい。歩行者と車が接触しそうになる。
- ・ 坂道が狭い。
- ・ 歩道が狭い。
- ・ 歩道と車道を区分けしてほしい。ガードレールが少ない。
- ・ 歩道がやや斜め。ベビーカー等が危ない。
- ・ 坂や段差に凸凹があって歩きにくい。
- ・ 車が邪魔をして、歩行者が歩けないのはおかしい。
- ・ 道幅が狭い。
- ・ 歩道がぼこぼこしている。
- ・ 埃っぽい。他都市と比べて窮屈。狭くて汚い。
- ・ 狭い。
- ・ 曲がり角から車が飛び出てくるので怖い。
- ・ 全体的に歩道が狭い。
- ・ 車道と歩道が分かれていないので危ない。ガス管や水道管の工事の度に地面を掘り起こしているので、ゴツゴツして歩いて歩きにくい。植樹の根っこ部分のタイルが盛り上がっていて歩きにくいところがある。
- ・ 段差があり凸凹が多い。
- ・ 歩道上に電信柱や標識があると狭く感じる。歩道が斜めになっているところがあり、歩きにくい。
- ・ 工事が行われているところは非常に歩きにくい。
- ・ 石畳のデコボコは高齢者には危ない。

- ・安全・安心が最優先だと思います。事故の起こらない環境づくりを。
- ・車に注意しながら歩かなければ危ない所が多すぎる。
- ・道がただでさえ狭いのに大きいバスやトラックなどが通るため、歩くとストレスで危ない。

2 車道使いやすさ

- ・ファミリーマート前の車幅がスレスレ。
- ・馬町～県庁間が問題あり。
- ・馬町周辺が狭い。
- ・美術館・図書館方面から来る車が期になり運転しにくい。
- ・市役所・桜町小学校周辺は工事が多くて使いにくい。
- ・県立図書館周辺は工事中で危ない。改善してほしい。
- ・日銀の前が歩道・車道とも悪い。
- ・県立図書館の前を改善してほしい。
- ・玉屋前が特にひどい。
- ・道路や標識は以前より良くなっているので、これからも良い方向へ向かって欲しい。
- ・標識や案内板を分かりやすくしてほしい。
- ・電車と重なっているので使いにくい。
- ・市役所周辺が悪い。
- ・標識は分かりやすい。
- ・車道が狭いので、歩行者に接触しそうになる時がある。
- ・狭い。各車線の幅がもっと広くなるといい。
- ・道路が狭く、車が多い。
- ・道が狭いので、人に接触しそうになる。
- ・標識が分かりにくい。
- ・車道と歩道が分かれていないので危ない。ガス管や水道管の。
- ・歩道と車道が狭いので分けた方がいい。
- ・安全・安心が最優先だと思います。事故の起こらない環境づくりを。
- ・離合が出来ない。
- ・どちらを走ればいいのか迷ってしまう。
- ・一方通行の標識がわかりにくい（大村から来ているため）。決まった道しか通らない。駐車場もいつも同じ。バス専用の道があって通りにくい。電車の通りが怖い（タイミングがわからない）。

3 ベンチ・ミニ公園などの休憩場所の多さ

- ・諏訪神社下の周辺環境が悪い。
- ・34号線沿線の公園に対して暗い印象がある。子どもが安心して遊べる公園にしてほしい。
- ・公園が目立たない。ベンチがもっとほしい。
- ・少し休めるベンチが少ない。

- ・ご飯を食べようと思って公園を探したがなかなか見つけることができなかった。

4 横断歩道の使いやすさ

- ・馬町の歩道が使いにくい。
- ・子どもを連れていると横断が間に合わなくて困る。
- ・横断歩道が少ない。
- ・横断歩道が狭い。段差があるので危ない。
- ・信号のない歩道があるので、特に大きいとおりのは信号をつけてほしい。
- ・走らないと時間内に渡れない横断歩道がある。
- ・横断歩道の信号の待ち時間が長いため、青の点滅で走ろうとして事故に遭う可能性がある。短ければまたすぐに赤から青にかわるだろうと心に余裕もできる。
- ・車に注意しながら歩かなければ危ない所が多すぎる。
- ・横断歩道の信号の待ち時間が長い。

5 歩道橋の使いやすさ

- ・県庁前の歩道橋は長い。信号も非常に不便で高齢者には辛い。
- ・新大工の歩道橋は使いやすい。
- ・市役所から興善町ゾーンはお年寄りに使いにくい。
- ・市役所の歩道橋にあるエレベータは便利。
- ・公会堂の歩道橋がなくなってよかった。
- ・県庁前と桜町小学校の歩道橋は利用しにくい。
- ・市役所の歩道橋はエレベータが便利。
- ・市役所の交差点の橋を歩いていると揺れることがあるので、安全性が心配だ。
- ・美術館前の通りに歩道橋を設置すべきだ。
- ・市役所（本庁）側の歩道橋にはエレベータがついているけど、反対側はあまり歩く人のためになっていないと思う。
- ・玉屋の前の歩道橋を取り除いて欲しい。お年寄りが渡るのを避けて、車道を歩いていることが多いので大変危険です。
- ・登り下りが高齢者には辛い。景観が悪くなる。
- ・高齢者や妊婦などが大変。きついので、無理に車道を横断して事故を引き起こしかねない。
- ・使いたいと思わないので、できるだけ避けて通っているのできつい。
- ・歩道橋をなくして、横断歩道を作ってほしい。段差が厳しい。
- ・歩道橋はなるべく利用しないようにしている。
- ・歩道橋は出来る限り使用したくない。（堀が深い）
- ・歩道橋はなくして欲しい。
- ・歩道橋は段差が大きく通りたくない。
- ・長い。
- ・歩道橋はいらない。
- ・歩道橋があると遠回りしてしまう。

6 地下道の使いやすさ

- ・電車に乗るためには新大工では歩道橋、馬町では地下道の階段を上がり下りしなくてはならないので、お年寄りには大変だと思う。
- ・諏訪神社前の地下道は昼間でも歩くのが何となく怖い。夜は特に。歩行者を優先にした道づくりをしてほしい。車いすの人や障害を持った人にとっては尚、不便です。
- ・諏訪神社交差点の地下道は、荷物を持っている時ほど大変苦痛。また、夜は暗くて治安面も不安。電停へ地上から行ける横断歩道を切望します。
- ・暗い。ゴミがあって汚い。
- ・暗くて怖い。
- ・地下道そのものが気持ち悪い。人とすれ違う時に緊張してしまう。
- ・汚い。
- ・地下道は使いにくい。
- ・地下道は分かりにくい。
- ・気持ちが悪いのであまり使いたくない。
- ・暗くて分かりにくい。
- ・怖いのでなるべく歩かないようにしている。
- ・地下道は暗い。案内板や矢印が少ないのでどこに進めばいいのか考えてしまう時がある。
- ・地下道は暗くて怖い。使いにくい。
- ・地下道は案内板も少ないので、あまり利用しない人には分かりにくい部分が多い。
- ・暗くて怖い。階段の傾斜が急。
- ・暗いので危険を感じる。
- ・暗い。案内板が少ない。絵のパネルをもっと分かりやすいものにしてほしい。
- ・怖い。夜は暗くて歩きたくない。
- ・地下道は使いやすかった。
- ・昼は意外ときれいだった。
- ・暗い。怖い。
- ・方向がわからず、一人では怖い。
- ・怖い。

7 信号の待ち時間の長さ

- ・新大工の信号が問題。
- ・市役所前は長い。
- ・新大工の信号が短すぎて問題である。
- ・信号が多くてドライバーとして困る。
- ・信号待ちが長い所がある。
- ・信号の待ち時間は長い。子どもを連れていると横断が間に合わなくて困る。
- ・待ち時間が長い。
- ・走らないと時間内に渡れない横断歩道がある。
- ・長い。

- ・横断歩道の信号お待ち時間が長いため、青の点滅で走ろうとして事故に遭う可能性がある。短ければまたすぐに赤から青にかわるだろうと心に余裕もできる。
- ・信号は長いほうが良いと思う。高齢者が渡りきることが出来るように。
- ・信号は長い。
- ・待ち時間が長い。
- ・信号待ちが長い。

8 交通規制の適用状況

- ・市役所の先の桜町と諏訪神社方面への別れ道の信号機の矢印のせいで渋滞になってしまう。
- ・交通規制をした方がいい。
- ・都心に車をいれないようにして、その分バスや電車を活用するようにする。
- ・規制を強化して欲しい。
- ・先日、夜9時に片側通行の規制があった。もっと遅い時間帯に規制をするべきだと思う。

9 渋滞の多さ(騒音含む)

- ・諏訪神社周辺
- ・馬町周辺が悪い。
- ・市役所周辺が渋滞する。
- ・馬町～諏訪神社区域の渋滞を何とかしてほしい。
- ・諏訪神社の交差点が特に問題。
- ・西山方面～市役所は、平日渋滞している。
- ・新大工～諏訪神社周辺
- ・諏訪神社周辺
- ・諏訪神社周辺は、渋滞していると車線の方向が分かりにくい。
- ・馬町周
- ・市役所の前が特に問題。
- ・市役所の前が特に問題。
- ・渋滞が多いのは県庁前、市役所前。
- ・諏訪神社から有料道路への分かれ道が渋滞している。
- ・バスの渋滞を解消してほしい
- ・渋滞する道や時間を避けて運転するようにしている。
- ・タクシーが多すぎる。
- ・渋滞が多くて怖い。
- ・渋滞緩和策がほしい。
- ・空気が悪くて息苦しくなってしまう。
- ・金曜日と雨の日は特に混雑する。渋滞時は空気が悪く埃っぽいので、息苦しくなる。
- ・朝夕のラッシュ。
- ・朝、工事中で混んだりする。
- ・いつも渋滞している。

- ・市役所の先の桜町と諏訪神社方面への分かれ道の信号機の矢印のせいで渋滞になってしまう。

10 ドライバーの運転マナー

- ・諏訪神社周辺
- ・馬町周辺が悪い。
- ・タクシーの運転が危ない。
- ・運転マナーが郊外に比べると悪い。
- ・良くも悪くもない
- ・交通マナーが悪いのは、車道の狭さや道だけの問題ではないと思う。
- ・平日と土日・祝日などで変化がある。
- ・道が狭いためか割り込み乗車が多い。
- ・片手運転（携帯電話を使用している）
- ・信号無視や強引に入ってくる（馬町・諏訪神社前）
- ・渡ろうと思っているとタクシーが突っ込んでくる。
- ・細い道をスピードを出して走っているので危ない。
- ・タクシーにクラクションを鳴らされると焦ってしまう。

11 路上駐車の数

- ・玉屋前はタクシーと駐車場待ちが多い。土日は特に多い。
- ・馬町周辺が悪い。
- ・諏訪神社周辺が多い。
- ・新大工、玉屋前
- ・住友の前にタクシーが止まっているため、自分が前の方に止めなくてはいけない。
- ・市役所の前、新大工の通りもやや悪い。
- ・路上駐車が非常に多い。歩行者の立場に立って考えてほしい。
- ・良くも悪くもない
- ・路上駐車が数多い。
- ・平日と土日・祝日などで変化がある。
- ・違法駐車が数多く車道を歩かなければいけない場所がある。
- ・駐車場が数少ない。
- ・路上駐車が数多いと感じた。

12 歩道における自転車・バイクの数

- ・市役所の前が多い。
- ・馬町周辺が悪い
- ・新大工が特に多い。
- ・新大工周辺が特に多い。
- ・諏訪神社周辺
- ・バイクが障害物になっている所があつて危ない。

- ・良くも悪くもない
- ・バイクのマナーが悪いので、バイク対策を実施してほしい。反対車線を走っているバイクもある。高校生の自転車のマナーが悪い。
- ・平日と土日・祝日などで変化がある。
- ・歩道に駐車しているバイクや自転車の量が多い。何も無い歩道であってほしい。
- ・違法駐車が多く車道を歩かなければいけない場所がある。
- ・バイクなど歩道に止めているイメージが多い。

13 街路樹など緑の多さ

- ・街路樹が増えてよくなっているので、もっと増やして欲しい
- ・良くも悪くもない
- ・都会の方が緑が多い。長崎はもっと努力すべき。
- ・長崎の中心なのでもっと緑を増やしてゆったりとした空間も作ってほしい。
- ・長崎らしい緑の整備がされた道づくりをしてほしい。
- ・緑が少なく、目に付かない。
- ・緑が少ない。夏などは気分が違う。

14 公共交通機関の使いやすさ

- ・「らんらん」が停まるのがいい。
- ・市役所前のバス停は利用しにくい。
- ・バスの本数が多いと思うが、渋滞が気になる。
- ・バスや路面電車はスムーズに乗車できていいと思う。
- ・良くも悪くもない
- ・渋滞でバスが遅れることがある。
- ・バスに乗る際に、歩道も狭いのに入口との距離があるとあせってしまう。もう少しゆとりをもって乗車できるように配慮してほしい。
- ・バスを増便してほしい。都心に車をいれないようにして、その分バスや電車を活用するようにする。県外客にはバス料金を割引する。

15 景観

- ・石畳は滑りやすいが景観としては良い。
- ・歩道橋は景観が悪くなる。
- ・良くも悪くもない
- ・看板など見苦しいところがある。統一感のあるまちづくりをしてほしい。
- ・景観を重視することはいいと思うが、誰もが利用しやすい道路(実用性)にしてほしい。石畳などは足腰に負担がかかる。
- ・昔まち並みを大切にしてほしい。
- ・ゴミがあまりなくきれいだった。

16 ゴミなどの多さ

- ・風が吹くと非常に汚くなる。
- ・落ち葉が多くて滑りやすい。
- ・タバコのポイ捨てが多い。
- ・空き缶やパンの袋がよく捨ててある。コンビニのゴミを捨てている人が多い。
- ・全体的に目立つ。溝の中は特に多い。
- ・良くも悪くもない
- ・新大工商店街の植え込みの中にゴミが多い。
- ・歩いているとタバコの吸殻が目立つ。
- ・ゴミが意外と多い。きれいな印象があまりない。
- ・観光都市の割に汚い。道路や中島川はゴミが多い。
- ・ゴミが気になる。
- ・ゴミがあまりなくきれいだった。

(アンケート調査票)

アットルック34

みんなで考えよう国道34号の将来を!

国道34号 道づくりアンケート調査

私たちにとって“道”とは何でしょう。
 みなさんは、日々の暮らしに欠かせない“道”に関心を持っていますか？
 これからの道づくりに、私たち「生活者の声」を反映させるためにも、道との関係をも
 う一度考え直してみようと思います。
 その第一歩として、長崎の中心を貫く国道34号、特に県庁から壱茶屋までの区間に
 ついて、広く市民の声を聞き問題点を探るために、このアンケート調査を企画致しました。
 アンケートの結果をまとめ、行政に対して市民の立場からの提案を行いたいと思
 います。ご協力よろしくお願いいたします。

ルート34ワークショップ実行委員会

調査対象範囲

回答の取り扱いについて
 本アンケートは、国道34号沿線の事業所や学校、公共機関等を中心に、5,000票
 程度配布させていただきます(無記名方式)。ご回答は全て統計的に処理するため、回答
 された本人にご迷惑をおかけすることは決してありません。

回答期限
 お手数ですが、お答え頂きました調査票は**平成15年 月 日()**
 までに、回収用封筒にお入れください。調査員が回収に伺います。

調査に関するお問い合わせ先
ルート34ワークショップ実行委員会事務局
 電話 095-822-6833 ファックス 095-822-8197 (ペンション出島の木内)

Q1: ご回答者ご自身についてお尋ねします。該当するところに 印をつけてください。

性別 (男 ・ 女) 年齢 (10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代 -)

Q2: 国道34号をあなたはどのように評価しますか? (全体的にみた場合)
 それぞれの項目に対し、あてはまる番号を**1つ選**び 印をつけてください。

(記入例)

	非常によい	まあまあ良い	やや悪い	大変悪い
1. 歩道の歩きやすさ	1	2	3	4
2. 歩道の広さ	1	2	3	4

	非常によい	まあまあ良い	やや悪い	大変悪い
1. 歩道の歩きやすさ(舗装の凹凸、段差、広さ等)	1	2	3	4
2. 車道の使いやすさ(広さ、車線数等)	1	2	3	4
3. ベンチ・ミニ公園などの休憩場所の多さ	1	2	3	4
4. 横断歩道の使いやすさ(高齢者対応など)	1	2	3	4
5. 歩道橋の使いやすさ	1	2	3	4
6. 地下道の使いやすさ(諏訪神社のところ)	1	2	3	4
7. 信号の待ち時間の長さ	1	2	3	4
8. 交通規制(一方通行など)の適用状況	1	2	3	4
9. 渋滞の多さ(騒音含む)	1	2	3	4
10. ドライバーの運転マナー	1	2	3	4
11. 路上駐車などの多さ(多いと思う程“悪い”へ)	1	2	3	4
12. 歩道における自転車・バイクの多さ	1	2	3	4
13. 街路樹などの緑の多さ	1	2	3	4
14. 公共交通機関の使いやすさ (バス停や電停の間隔、ルート、時間等)	1	2	3	4
15. 景観(舗装面の修景、沿道建物の 色やデザイン、電線、看板等)	1	2	3	4
16. ゴミなどの多さ	1	2	3	4

Q3: 国道34号は、今度どのような整備に力を入れていくべきだと思いますか。
 あてはまるものを**2つ選**び 印をつけてください。

交通渋滞の少ない安全で快適な道づくり
 段差のない、ゆったりした広さの歩きやすい歩道づくり
 ベンチや公園のあるゆとり歩ける歩道づくり
 誰もが使いやすい歩道橋づくり
 誰もが安心して利用できる横断歩道づくり
 歩行者と自動車完全に分離した道づくり
 景観に配慮した魅力的な道づくり・歩道づくり
 その他 ()

裏面に自由意見を
お願ひします!

自由意見

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

3. 花いっぱいキャンペーン

(H15/12/15(月))

ヨーロッパの道には四季の花が咲き乱れ住民達の日々の暮らしに潤いを与えています。私たちが毎日何気なく通る道に花があったらどんなに素敵でしょう。そこで、長崎の中心地の道、長崎県庁から長崎市役所までの国道34号の歩道の両サイドに12月15日～25日までの10日間、クリスマスの花、ポイントセチアを飾る「花いっぱいキャンペーン」を企画しました。

(日時)12月15日(月) 9:30分～児童たちによる長崎市長への贈呈式

(長崎市役所正面玄関) その後、住民参加による花鉢配布作業

(参加者) 長崎私立緑が丘保育所児童、活水大学学生、長崎大学学生、
地域住民、実行委員会メンバー他





4. 女性が語るみちづくり・まちづくり(トークセッション)

このトークセッションは、道路の管理・整備について、女性の視点から「歩きやすい道・歩きたくなる道・魅力ある道づくり、まちづくり」をテーマに、様々な分野で道に関する女性が意見交換を行い、市民の道路に対する関心を高め、行政と協働で道づくりやまちづくりを進めることを目的に開催しました。

当日(4月27日(土))は、会場の定員である150名を上回るほどの参加者であふれ、田村先生の基調講演、熱気あふれるトークセッションが開催されました。



道やまちづくりをテーマに活発な意見が飛び交ったトークセッション
＝長崎市南山手町の長崎全日空ホテルグラバール

(4月28日長崎新聞朝刊より)

「子孫に残すまちづくりを
女性ら150人活発討議」
道路の管理や整備、まちづくりをテーマにしたトークセッションで女性が語る道づくり・まちづくりが二十七日、長崎市南山手町の長崎全日空ホテルグラバールであった。同市中心部を走る国道34号の整備などを考えるルート34ワークショップ実行委が主催。市民ら約百五十人が参加した。

作家の田村喜子さんが「道づくりを支えた人々」と題し基調講演。「道路は便利さを追求するだけではなく、子孫に残す土木遺産。責任と誇りを」と語り、道づくりの重要性を訴えた。

トークセッションでは、同実行委員長の阿野史子さんと視覚障害がある下田敦子さんから6人がパネリスト、佐藤信秋国士交通省道路局長ら二人がゲストアドバイザー、長崎ネットワーク市民の会会長の村木昭一郎さんが司会を務めた。

「側溝にはつえが挟まらないようなつたを」「狭い長崎は歩く町。車の入らない道を通ってほしい」「道路造りには住民の声を聞く場を制度化して設けるべきだ」などの要望のほか、「年度末になぜ道路工事が多いのか」などの質問も。活発な意見が飛び交った。

参加者募集
入場料無料

道路の管理・整備について、女性の視点から「歩きやすい道・歩きたくなる道・魅力ある道づくり、まちづくり」をテーマに、様々な分野で道に関する女性が意見交換を行い、市民の道路に対する関心を高め、行政と協働で道づくりやまちづくりを進められるよう提言します。

女性が語る
みちづくり・まちづくり

(日時)平成16年3月27日(土)13:30～16:30
(場所)長崎全日空ホテルグラバール 2階 東山手の間 (定員150名)
(主催)ルート34ワークショップ実行委員会
(後援)国土交通省長崎河川国道事務所

内容

13:30 開会
13:35 ルート34ワークショップ実施報告
14:00 基調講演
講師:田村喜子氏(作家)
『道づくりを支えた人々』(休憩)
15:00 トークセッション
(テーマ)
長崎のみちづくり・まちづくり
16:30 閉会

トークセッション出席者
ユキ子(スネーク) 村木昭一郎(長崎市民ネットワーク会長)
パネリスト(五十名) 川上 順(有)クレストア代表取締役
川原 真理(ザナガキ生計) 下田 敦子(社)長崎県視覚障害者協会
竹中 瑞美(コピライター) 田村 喜子(作家) 阿野 史子(ルート34ワークショップ実行委員長)
行政関係者他

応募方法
応募用紙に必要事項を書き入れ下記のFAXまでお送りください。定員150名になり次第締め切らせていただきます。

お申し込み・お問合せ
ルート34ワークショップ実行委員会
TEL 095-822-6833
FAX 095-822-8197

ふりがな		
代表者氏名	他	名
住所		
電話番号		
所属(団体名等)		

(案内チラシ)

女性が語る
みちづくり・まちづくり

(日時)平成16年3月27日(土)13:30～16:30
(場所)長崎全日空ホテルグラバール(2階 東山手の間)
(主催)ルート34ワークショップ実行委員会
(後援)国土交通省長崎河川国道事務所

(当日配布資料 表紙)

5. 新聞・雑誌記事

魅力的な国道34号へ

市民らのワークショップ
長崎で景観など実地調査



長崎市中心部を走る国道34号の道路整備などに、市民の意見を反映させる「第1回ルート34ワークショップ」(ルート34ワークショップ)が十六日、同市築町のメルカつきまちであった。

このワークショップは、国土交通省長崎工事事務所が三月に開いた国道34号についてのワークショップに参加した市民らが一連的に取り組むことと実行委(阿野史子代表)を立ち上げて開催。県庁から遊茶屋電停まで

国道34号の歩道について検討した道を開き始める参加者。長崎市庁舎前

長崎市中心部を走る国道34号の道路整備などに、眺望、バリアフリー、歩道の状況などの視点から道づくりについて意見をまとめる。

今回は市民や大学生のほか、同事務所や県、長崎市の担当者ら約四十人が参加。歩道幅や交差点など調査テーマ別に四グループに分かれて歩き、気付いた点を地図に書き込んでいった。

現地調査後は、グループ別に国道34号の良い点と悪い点を挙げ、改善案などを話し合った。ワークショップは本年度、あと二回開く予定。

市民の目線で見直そう

長崎市50人が実地調査

長崎市中心部を通る国道34号と、その周辺環境を市民の目線で見直す「ルート34ワークショップ」(同実行委主催)が十七日、同市の諏訪神社前・遊茶屋電停で開かれた。

同実行委は、国道34号の整備や管理のあり方について、市民サイドから意見を聞き、昨年六月に県庁・同神社前間の実地調査を行った。

調査に続き、二回目の開き、結果をまとめて、三月に国土交通省や県、市に提出する。

同神社前の地下道や歩道を調べたグループは、活水女子大三年の弓削十三さん(左)をリリーダに七人。地元に住む無職と改善の必要性を指摘し、田中数夫さん(右)は「きれいに見える石畳だが、

調査に続き、二回目の開き、結果をまとめて、三月に国土交通省や県、市に提出する。

同神社前の地下道や歩道を調べたグループは、活水女子大三年の弓削十三さん(左)をリリーダに七人。地元に住む無職と改善の必要性を指摘し、田中数夫さん(右)は「きれいに見える石畳だが、

長崎市の市民グループが十五日、同市役所(桜町)一県庁(江戸町)までの歩道七百メートルに、ポインセチアの鉢植え五百鉢を飾った。沿道はポインセチアの鮮やかな赤色が映え、近づくクリスマスを演出している。

グループは「ルート34ワークショップ実行委」(阿野史子委員長)。阿野委員長が昨年度、国土交通省設置の「長崎市街路空間検討協議会」に追加したのを機に、その後も、地域住民らと同区間の道路環境を考える活動を続けている。

同日、市立緑が丘保育所園児が、伊藤市長にポ



伊藤市長にポインセチアの鉢植えを手渡す園児
長崎市役所横の広場

Xマスへ街路美しく

長崎の市民グループ

ポインセチア飾る

インセチアの鉢植えを手渡した。伊藤市長は「ポインセチアの花言葉は『祝福』。沿道はクリスマスの花で彩るアイデアは素晴らしい。皆さんに祝福がありますように」とあいさつ。

その後、同グループの学生らが鉢植えを入れたプランターを沿道に並べた。阿野委員長は「毎日通る道に花があったらすてきという発想から初めて取り組んだ」と話す。

「飾っている間、土が乾いていたら水を入れてください。二十五日は、クリスマスプレゼントとして鉢植えを自由にお持ち帰りください」と呼び掛けた。

(ザ・ながさき 2004年3月12号)



私たちの道づくり・チャレンジ!!

ルート34 ワークショップ

NEWS FLASH vol.1

みんなで考えよう、国道34号の未来を!

ここにあるのがあたり前、日々の暮らしに欠かせない、道。でも、せっかくなら生活者の視点からの提案を取り込んでもっと使いやすくできないかな? まずは長崎市の中心を貫く国道34号、中でも県庁から堂茶屋までの区間から——そうしてできたのが「ルート34ワークショップ」。昨年から市民アンケートやヒアリング、現地調査を重ね、具体的な提案の輪郭が見えてきました。道を使う人々の声を、道を作る側に届け、活かす。動き出したばかりですが少しずつ成果がでてきています。そしてこの春、発表会も兼ねたトークセッションイベントも開催決定。

アンケート調査

道づくりに関わることって何? を5000人に聞き取り調査。やはり安全・快適・景観への要望がダントツ。

市民ワークショップ

お年寄りや主婦、車イスでの参加者と共に、3回にわたって現地調査。なるほど! な提案続々。

若いっばいキャンペーン

昨年のXマス前に子どもたちとポインセチアで国道34号を華やかに演出!!

3/27 (土) トークセッション開催決定!

日時 3/27(土) 13時~15時
 場所 長崎全日空ホテル グラバービル
 入場無料
 問い合わせ 095-822-6833

長崎で活躍する女性たちと道づくりに関わるパネリストが登場、身近な道と生活について語ります。

ルート34ワークショップってなあに?

市民の声を道づくりに反映させたい! と昨年作られた市民グループ。主に長崎市内の学生が中心となって活動中。メンバーも随時募集中心なので、関心のある方、まずはイベントから参加してみませんか?

事務局(出前のみ) 095-822-6833(平日9時~22時)